

平成25年度 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業

家族で発見！吉備体験

平成25年11月3日（日）～11月4日（月）

1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

家族で自然体験活動を行い、自然の中で活動することの楽しさ、ふれあいの大切さを感じるとともに、体験活動のもつ教育的意義を理解する。

2. 事業の概要

(1) 開催日

平成25年11月3日（日）～11月4日（月） 1泊2日

(2) 募集人員

小学生及びその家族10家族（40名程度）

(3) 参加者

9家族27名

(4) 講師

活動① シェアリングネイチャー協会 勝間 光洋 氏

活動② 天文同好会 岡山アストロクラブ 大島 学氏 他4名

活動③ 野外炊事 国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職

(5) 企画・運営のポイント

- 「発見！」をテーマに、昼間の自然、夜の自然、家族のふれあいの素晴らしさに気付けるように3種類の活動を企画した。
- 講師には、岡山で活動している方を招くことで、県内の指導者の活躍の場とした。
- 1日目は雨模様の天気であったが、雨の楽しさを発見することができるよう、午後の活動は外で実施することにした。
- 1日目夜の天体観察は雨天のため、やむを得ず室内での活動に変更した。事前に雨天プログラムを準備しており、スライドや模型を使っての天体の話や、イラストを活用した「視差体験」などをとり入れることで、星空の魅力を発見することができた。
- 2日目の野外炊事では、2家族を1組として調理することで、家族間の交流も図れるようにした。
- ネイチャーゲーム、野外炊事の講師が一人であったことから、募集定員を10家族とした。

3. 活動の内容等

(1) 日程

11月3日(日)		11月4日(月)	
13:00	受付	6:00	起床・荷物整理
13:30	開会式	7:45	朝のつどい・朝食・移動
14:00	活動①ネイチャーゲーム	9:30	活動③野外炊事
17:20	夕べのつどい・夕食	14:00	閉会式
18:45	活動②天体観察(雨:天体のお話)		
21:00	入浴・就寝		

(2) 活動の様子



【ネイチャーゲーム①】



【ネイチャーゲーム②】



【天体のお話①】



【天体のお話②】



【野外炊事①】



【野外炊事②】

4. 成果・課題

(1) 参加者（保護者）の満足度

事業全体の満足度 100%

(2) 成果

参加者の感想から、各活動を通して家族での自然体験の楽しさを発見していただくことができた。

○ ネイチャーゲーム

- ・「カッパを着て小雨の中を歩くことも滅多にできないのでいい思い出です。」
- ・「雨が残念でしたが、それさえも楽しもうとされていて、雨の散歩もいいものでした。」
- ・「親子で楽しめて、雨でもこんなに楽しむことができるんだと発見！」

○ 天体観察

- ・「低学年までの子供がいる中、専門的すぎず幼稚すぎず、なにより『タイムリー』と『好奇心』をおさえた講話内容はすばらしかったですし、講話技術が光っていました。」
- ・「星空を見ることができないのは残念でしたが、ゆっくり話をきけて良かった。」

○ 野外炊事

- ・「ローストチキンの底にたまった野菜と鶏のうまみのつまったソースのおいしさに驚きました。」
- ・「スモークに興味があったのですが、簡単にできることにビックリした。すべて美味しかった。」
- ・「大人としても感動の時間で・・・とても美味しくお腹いっぱいいただきました。」

また、家族のふれあいに関しても、次のとおり感想をいただくことができた。

- ・「自然観察・好奇心喚起・体験・コミュニケーションと、とても良くバランスのとれたプログラムでした。」
- ・「天体望遠鏡を買って家族で星空を見てみたいです。」「ダッチオーブンを買ってみたいです。」といった感想や、「家に帰ってから家族で段ボール燻製をしました。」という連絡をいただき、ここでの体験が家族の体験を豊かにすることができた。

(3) 課題

- ・雨天の天体プログラムが「お話が中心」であったため低学年の参加者の中には、退屈に感じる方がおられた。ゲームやクイズなど動きのある活動を取り入れることで、低学年の参加者も興味をもって活動することができるため、今後に取り入れていきたい。
- ・野外炊事の際に、環境に配慮した洗い物の仕方を伝えるなどの工夫をすることで、さらに内容を深めることができる。
- ・閉会式の前に、参加者の感想を発表する機会を設けることで、各自が1泊2日で感じたことを共有できる。

担当：企画指導専門職 渡邊 剛志